

## とうきょうすくわくプログラム活動報告書

保育園名	日向和田保育園（2歳児）
日時	2025. 9. 26

### 1. 活動のテーマ

#### 〈テーマ〉

身近な自然物に興味を持ち、様々な発見を楽しむ。

#### 〈テーマ設定の理由〉

枝についている実が気付き、枝から外して遊んでいる児がいたので、クラスの見数人で、より遊びを深め、興味を広げられるようにしていけたらと考えたから。

### 2. 活動スケジュール

実に興味を示していた5人で15分程

### 3. 探究活動の実践 〈活動の内容〉

#### ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・木の実
- ・実をいれる容器

### ・活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育士との関わり

木の実が地面に落ちているのを発見。その元がどこにあるか担任と探しに行く。最初は桜の木の実だと思い、確認したが、実際は隣の木で、枝に付いたままぶら下がっているのに気が付いた。その実の状態を見て「ブドウみたい」という児がいた。その後、実を集めていると、色の違いに気付く児もいて「りんごみたい」と言いながらジュースに見立て、保育士に持ってきてくれた児もいた。また、「〇〇の方がいっぱい〜」と数量比べにも発展していき、子ども同士でコップを寄せ合い、みんなで見て確認する様子も見られた。実がなくなった枝も近くにいた年長児が「サンタさんの鹿みたい」とトナカイを連想したり、「アジサイみたい」と話すと興味深そうに枝を再度よく見ている児もいた。



### 4. 振り返り

木の実を集めた入れ物がコップだったので、ジュースに見立てた遊びに発展していった。今度は容器を変えてみたり、場所を変え更に見立てが発展出来るように工夫したり、時期的にドングリなど他の木になる実を探しに出かけたり出来ると良いと思った。10月の職員会議で内容を共有した。